

消化器外科(胃食道)レジデント研修カリキュラム

上部消化管悪性腫瘍を含む消化器の外科治療の専門医を目指す研修

研修目的

取り扱う疾患は、1.胃がん、2.食道がん 3.その他の胃・食道の悪性腫瘍 (GIST や肉腫など)で、これらの疾患を通じて、標準的な消化器外科手術と外科腫瘍学を習得する。

研修目標

1. 胃がん・食道がんに対する開腹、開胸手術の習得
2. 胃がん・食道がんに対する腹腔鏡手術、胸腔鏡手術、ロボット支援手術)の学習及び手術経験
3. 化学療法を含めた集学的な治療技術の習得
4. 臨床試験、トランスレーショナルリサーチおよび論文作成等を通じた学習

年度別到達目標

全年次を通して

1. 胃がん手術:術者として年間 30~40 例、助手 100 例
2. 食道がん手術:助手として年間 40 例、術者として 1 例以上
3. 化学療法(集学的治療を含めて、延べ regimen) 20 例
4. 学会発表:5 回、論文:英文 2 編、教育的集会:出席 4 回

研修の指導体制

以下の認定医・専門医・指導医の資格を有する当診療科の医師が指導にあたる。

外科学会専門医・指導医

消化器外科専門医・指導医

消化器病学会専門医・指導医

消化管学会専門医・指導医

内視鏡外科学会技術認定医

消化器内視鏡学会専門医・指導医

がん外科治療認定医

がん治療認定医

食道学会認定医・専門医

研修内容

1. 胃がん手術:術者として年間 30～40 例、助手 100 例
食道がん手術:術者 1 例以上、助手 40 例
2. 化学療法(集学的治療を含めて、延べ regimen)20 例
3. 学会発表:5 回、論文:英文 2 編、教育的集会:出席 4 回

研修評価方法

1. 直接の指導医のほか、他スタッフにより逐次評価を受ける

2. 1年に1度、責任医による目標達成度のチェックや次年度の目標を立てる

最終改訂：令和4年3月16日